

令和6年度

事業報告書
及び
事業報告の附属明細書

社会福祉法人 掛川市社会福祉協議会

目 次

【事業報告書】

1 令和6年度の施策体系	1
2 総括	3
3 施策別説明	3
4 令和6年度の特徴的な事業	8
5 詳細資料	10

施策1 安心して暮らせるまちづくり

1 安心につながる相談支援事業	10
2 人権を守る権利擁護事業	12
3 生活を守る在宅サービスの充実	14
4 安心を支える災害時対応支援事業	15

施策2 とともに支えるまちづくり

1 居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業	16
2 高齢者の社会参加を支援する事業	18
3 子どもの成長と子育てを支援する事業	22

施策3 市民参加のまちづくり

1 市民を育てるボランティア活動推進事業	26
2 地域を育てる地域活動支援事業	28
3 福祉を伝える啓発・情報提供活動	30
4 福祉の心を育てる福祉教育活動	31

施策4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

1 福祉を進める体制を強化する事業	32
2 社会福祉協議会の運営と組織強化	35
3 共同募金運動の推進	37

【事業報告の附属明細書】	39
--------------	----

1

令和6年度の施策体系と実施事業

基本目標：みんなの幸せをつなぐ福祉のまちづくり

施策体系：

施策1 安心して暮らせるまちづくり

- 1 安心につながる相談支援事業
 - 1) 相談支援事業の実施
 - 2) 自立支援施策の実施
- 2 人権を守る権利擁護事業
 - 1) 権利擁護体制の充実
- 3 生活を守る在宅サービスの充実
 - 1) 生活支援サービスの充実
 - 2) 外出支援の充実
- 4 安心を支える災害時対応支援事業
 - 1) 緊急時・災害時支援体制の確立

施策2 ともに支えるまちづくり

- 1 居場所とつながりをつくる当事者や家族等への活動支援事業
 - 1) 当事者や家族等への活動支援
 - 2) ひきこもり者支援事業
 - 3) 障害児(者)との交流事業
- 2 高齢者の社会参加を支援する事業
 - 1) 高齢者の社会参加促進
 - 2) 生きがい活動支援
- 3 子どもの成長と子育てを支援する事業
 - 1) 子ども支援活動
 - 2) 子育て支援活動
 - 3) 障害児支援活動

施策3 市民参加のまちづくり

1 市民を育てるボランティア活動推進事業

- 1) ボランティアの開拓・養成
- 2) ボランティア活動支援
- 3) 多様な担い手との連携

2 地域を育てる地域活動支援事業

- 1) 地区福祉協議会のネットワーク強化
- 2) 地区福祉協議会活動の充実
- 3) 地域福祉活動支援の充実

3 福祉を伝える啓発・情報提供活動

- 1) ふれあい交流活動
- 2) 市民啓発活動
- 3) 情報提供活動

4 福祉の心を育てる福祉教育活動

- 1) 学校発の福祉教育の充実
- 2) 地域ぐるみの学びの場づくり

施策4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

1 福祉を進める体制を強化する事業

- 1) 地域包括ケアシステムの充実
- 2) 福祉関係機関との連携強化
- 3) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

2 社会福祉協議会の運営と組織強化

- 1) 社会福祉協議会の運営
- 2) 社会福祉協議会の組織強化

3 共同募金運動の推進

- 1) 共同募金活動への協力
- 2) 共同募金助成事業の実施
- 3) 歳末たすけあい助成事業の実施

2 総括

令和6年度は、前年度からの急激な物価高騰が留まることを知らず、多くの市民の生活に影響を及ぼし、加えて度重なる自然災害など、生活の向上を感じる人は少なく先行きの暮らしに不安を抱える状況が続いた。

当社協にも、日々の生活の中で生活困窮者や社会的弱者等が抱える多くの課題の相談が寄せられた。これに対し、4課7係からなる事務局体制を整え、組織的に市民の生活課題に対応した。さらに、課題解決へ向けた支援を継続的に行ってきた。

地域福祉推進の根本をなす「第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画（スマイルプランかけがわ21）」は4年目となり、各施策のさらなる推進を図るとともに、令和8年度が初年度となる第五次計画の策定に向けて、より多くの市民の声を反映するため地区福祉協議会の「エリア別懇談会」を実施し、掛川市内の今後の福祉活動についてなど幅広い意見をいただいた。この他、「中・高校生アンケート」の実施、ふくしあを中心とした「専門職懇談会」を開催するなど多くのご意見をいただくことができた。

市内5箇所の「ふくしあ」に配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）と生活支援コーディネーター（SC）による地域福祉の推進では、福祉施策の情報提供や生活困窮者支援などの実施、地域の住民同士の支え合い活動のサポート等、それぞれの日常生活圏域での地域福祉の推進を図ってきた。

掛川市社協全体では、掛川市が進める各事業が連動して個別支援・地域支援・地域づくりを推進する掛川版の重層的支援の体制整備に向け、関係機関と連携強化を図り事業展開を図った1年であった。

3 施策別説明

（ ）内のページは、詳細資料の該当ページを示しています。

施策1 安心して暮らせるまちづくり

1 安心につながる相談支援事業（10～12 ページ）

相談事業では、度重なる物価高騰などにより家計に窮する生活困窮者からの相談は今年度においても途切れることはなかった。「コロナ特例貸付金」の償還も予定どおりに進まず、償還免除・償還猶予の相談も引き続き続いている。

そのような中で、市民・企業・団体からの寄付金や食品寄附には大変助けられており、感謝の意を表するものである。

年金だけでは生計維持が難しい高齢者からの相談や、社会から孤立した生活を続けていた世帯への対応、派遣就労からの解雇や家賃未払いにより住まいを追われる等の逼迫した課題への対応に追われる中であっても、フード支援や多機関・多職種との連携により、生活の自立再建に向け一人ひとりに寄り添った支援をおこなってきた。

2 人権を守る権利擁護事業（12、13 ページ）

権利擁護の1つである日常生活自立支援事業では、33人の契約者に対して年間を通して3,332件の相談に乗り、582件の支援を行った。

成年後見事業においては、令和4年6月より法人後見の受任を開始し、現在5件を受任中である。東遠3市の中核機関に参画し、毎月事例検討や受任調整、2次スクリーニングを行うとともに、市民後見人の養成については、早期の活動開始を図るため講座修了生の実務研修のフォローアップを継続して行っている。

3 生活を守る在宅サービスの充実（14 ページ）

障がい福祉サービスにおいては、身体、知的、児童、精神の居宅介護、ガイドヘルパーによる視覚障がい者を支援する同行援護を実施した。ガイドヘルパーは現在市内で運営している事業所が当会のみであり、ニーズに対応するための人材確保が引き続き課題となっている。

外出支援事業では、車いす及び福祉車両（車いす対応車輛）の貸出件数が、前年度並みの車いす600件、福祉車両550件を超す利用となった。

4 安心を支える災害時対応支援事業（15 ページ）

本年度中に社協が対応した災害派遣等はなかったものの、引き続き災害時の協力体制確保のため、災害ボランティア活動用機器を備えた防災倉庫設置の3施設で、関係者による保守点検作業や説明会を実施した。

災害ボランティアセンター立上げ訓練では、被災地派遣の経験を活かしICTを活用した実践に近い形での訓練を行うとともに、災害ボランティアコーディネーター養成講座を通年開催した。

施策2 ともに支えるまちづくり

1 居場所とつながりをつくる当事者活動支援事業（16～18 ページ）

在宅介護者支援事業では、認知症家族介護者交流事業「笑顔のつどい」や認知症カフェを市内3カ所で、さらに参加者の拡大を図るため出張会場での開催を年間を通して実施した。

ひきこもり者支援事業は、掛川市の設置する「掛川市ひきこもりサポート協議会」の「指定支援機関」として事業に取り組み、個別の相談支援を始め、啓発講演会、当事者家族の学習会やおしゃべりサロン、当事者の居場所支援など活動は充実してきている。また、常設居場所「Myラボ」は、当事者が安心して来られる「居場所」として機能している。

知的障がい者交流事業では、交流事業の「この指とまれ」「四つ葉の会」を年間通じて開催するとともに。精神障がい者交流事業では市内の北会場、南会場で開催し、レクリエーション等を通して緩やかな交流を図ることができた。

2 高齢者の社会参加を支援する事業（18～22 ページ）

高齢者の孤立防止と生きがいづくりとして、地区福祉協議会等が主催する高齢者や子どもなど他の年齢層も参加する「サロン」や「複合サロン」は 80 会場で実施された。地域の実情に合わせたサロンの開催や、活動の継続に対してのフォローなど地域住民と連携を図り推進してきた。

シニアクラブについては、連合会と掛川支部の事務局を担い、シニアクラブの活動を支援するとともに、連合会の活動を整理し、支部活動を充実させるべく組織の再編成を行った。

高齢者支援では、健康寿命の延伸と介護予防を総合的に推進する「笑顔と生きがいづくり事業」を市内に展開し、利用者のフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態）予防を主眼とした「社協 筋ちゃん体操」を、定期会場 2 カ所、期間限定会場 3 カ所、短期集中会場 3 カ所で実施した。併せて、より地域に密着した介護予防の推進のため、地域へ出向き、体操の紹介と指導・体験講座を実施し普及啓発及び地域での自主活動の開催を支援した。

新たな取り組みとして、e スポーツ体験会を 3 会場で実施し、延べ 371 人が体験した。

3 子どもの成長と子育てを支援する事業（22～26 ページ）

障がいのある子もない子と同じ空間で過ごす交流の場、親同士の交流や子育て相談の場として「おもちゃ図書館」を毎月 1 回、第 3 日曜日に通年開催した。

子の発達に不安を抱く保護者のフォローを含む支援事業の「おやこたけのこ教室」も年間計画通り実施し、延べ 847 名が利用した。

放課後等デイサービス事業は、「はるかぜ」「みなみかぜ」の 2 施設体制で運営するとともに、みなみかぜの「保育所等訪問支援事業」では、学校・家庭・事業所（学童保育所・保育園・こども園）とさらなる連携を図った。

子育て支援では、放課後児童健全育成事業（学童保育所）について、8 小学校 12 箇所の運営を行った。利用児の増加に伴う職員配置を適切に図り、防災・防犯等の体制を充実させ、安全で安心な運営に心掛けた。また、適切な運営母体への移管について教育委員会と協議し、中央小学童保育所の運営を民間事業所に移管した。

地域で行われる子育てサロン・サークルの支援においては、情報交換会を開催するとともに、子育て相談支援員による活動の支援を行った。

施策 3 市民参加のまちづくり

1 市民を育てるボランティア活動推進事業（26～28 ページ）

本年度の社協事業への協力ボランティア数は 600 人を超え、多くの事業や活動でボランティアの協力をいただいた。

ボランティア連絡協議会の活動では、ボランティア団体同士の交流を目的とした事業を実施した。

社会貢献活動における企業との連携では、寄付活動やフードドライブ事業に取り組んでいる企業と連携して生活支援事業を継続的に展開することができた。

2 地域を育てる地域活動支援事業（28～30 ページ）

地域活動への支援では、社協が事務局を担う「地区福祉協議会連絡会」を中心に、情報交換や課題検討を行い、地域福祉実践地区のネットワーク化や、地域主体の地域福祉実践体制の整備を図ってきた。

さらに市内 35 地区の地区福祉協議会などの地域福祉推進組織に対し個別に活動・財政支援を行い、住民主体の地域福祉活動の活性化や安定化に努めてきた。

身近な支えあい体制を構築していくための「小地域福祉ネットワーク活動」の推進支援では、災害対応、ひきこもり、多世代交流、移動支援など地域のニーズに合わせた研修会を開催するとともに、市内の地域福祉活動の周知と相乗効果を図るために各地域の活動を発表する「活動実践報告会」を行った。

レクリエーション用具等の貸出を行う「福祉お助け用品貸出事業」では、本年度 1,000 件を超す利用となり、各地域のレクリエーション活動の活発化に寄与できた。

3 福祉を伝える啓発・情報提供活動（30、31 ページ）

「ふれあい広場」の開催では、1,500 人を超える多くの来場者があった。参加者からは活発な交流や福祉活動の情報交換ができたことと喜びの声が寄せられた。

情報提供活動では、毎月 1 回発行する「社協だより」を中心に、市内の福祉団体等の活動や社協事業の紹介、行事・イベント等の情報提供に努めるとともに、ホームページや SNS の活用なども含め、市民と社協とのつながりや魅力発信の強化策を検討するため、事務局内に「社協見える化プロジェクト」を立ち上げた。

4 福祉の心を育てる福祉教育活動（31、32 ページ）

学校での福祉教育への支援として、福祉教育実践校に小学校 22 校、中学校 9 校、高等学校 4 校、計 35 校の市内全校を指定し、各学校における教育目標に沿った実践活動の展開を支援した。また、実践校間で情報交換や課題検討をするための実践校連絡会を 2 回開催した。連絡会では、社協から子どもの成長に合わせ展開する福祉教育の提案と学校の福祉活動に協力して下さっている障がいを持つ方の思いを伝える機会とし、福祉教育担当教員と意見交換を行うことで、相互理解を深めた。

施策 4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

1 福祉を進める体制を強化する事業（32～35 ページ）

関係機関との連携では、地域包括支援センターとの連携強化のため、「地域ケア会議」、「包括相談協力員懇話会」へ継続的に参加し意見交換してきた。

社会福祉法人の社会貢献活動では、「掛川市社会福祉法人等社会貢献研究会」の主催で、「福祉なんでも相談会・フードパントリー事業」を掛川・大東・大須賀地区で

計 3 回実施するとともに、さらなる連携強化を図るためオープンチャットを活用した情報共有を開始した。

2 社会福祉協議会の運営と組織強化（35～37 ページ）

社協組織の基盤強化においては、法人機関体制の見直しを進め、令和 6 年 12 月の理事会・評議員会において、理事・監事・評議員の構成及び人員の再構築に関する定款及び関連規程の一部改正議案を提出し決議をいただき、所轄庁より認可を受けた。

社協事業の効率的な運営については、福祉施策のさらなる推進を図る観点から、PDCA サイクルを活用した事業評価を年に 2 回実施し、効果の薄い事業については整理し統合または廃止など適切な執行管理を行った。

職員の教育および研修制度の充実については、「人材育成に関する基本方針」に基づき、本年度より自己申告制度を導入し、年度当初に職務目標を設定、管理職による面接指導を年 3 回実施した。研修では、新たに県社協から管理職を講師として招き、社会福祉の実践的な研修も取り入れ学びの深化を図った。

事務局においては、「勤怠管理システム」を導入し、正規職員および嘱託職員を対象に試験期間を経て、令和 6 年 11 月より運用を開始した。

3 共同募金運動の推進（37～38 ページ）

共同募金（一般募金）の総額は、10,560,963 円（目標額の 96.0%）、歳末たすけあい募金は 8,023,650 円（目標額の 101%）の協力をいただいた。概ね目標額を達成することができたことは、貴重な浄財を提供いただいた方々や熱心に募金活動に取り組んでいただいたボランティアの皆様の深い熱意の賜物と感謝の意を表するものである。

共同募金では、地域福祉推進のための 13 事業に 8,528,235 円を活用するなど多くの事業や活動が効果的に推進された。

歳末募金では、経済的理由で生活支援が必要な 140 世帯の方に見舞金として 3,367,000 円、地域で実施する年越しの福祉事業に対して 90 団体、1,856,000 円を希望する個人、団体に助成することによって、生活の安定や充実した活動に寄与できた。あらためて、御協力いただいた全ての方に感謝申し上げるとともに、引き続き共同募金運動の活性化と推進を図っていく。

4 令和6年度の特徴的な事業

施策 NO.	事業名	内容・成果等
施策 1 - 1	福祉総合相談事業	広く地域住民の相談に応じ、適切な助言を行い、複雑化する住民の生活課題を解決することを目的に総合相談を実施した。 相談件数 7,011 件（5年度 6,915 件）
施策 1 - 2	権利擁護事業	法人後見として、後見 4 件、保佐 1 件、合計 5 件を受任し、年間 394 回の支援を行った。 （5年度、後見 3 件、保佐 2 件、合計 5 件 281 件） 東遠 3 市の中核機関に参画しケース検討を行うとともに、権利擁護の相談窓口をはじめとした成年後見制度の推進を図った。 ケース検討 141 件（5年度 110 件）
施策 2 - 1	ひきこもり者支援事業	事業開始 11 年目となり、学習会やサロンも安定した運営ができるようになり、個別の相談対応も増えてきた。また、市受託事業として開設している常設型居場所「My ラボ」は、ひきこもり者の社会参加のステップの場となっている。 「My ラボ」利用状況 当事者延べ 737 人 家族延べ 37 人 （5年度 当事者延べ 899 人 家族延べ 67 人）
施策 2 - 2	生きがい活動支援（笑顔と生きがいづくり支援事業）	生きがいデイサービス事業は、地域出張会場を整理して 1 会場当たりの利用者の増加を図り、より交流できるように取り組んだ。参加人数 7,572 人 利用者継続検討会を実施し、50 人の利用者のアセスメントを行った。 「社協筋ちゃん体操」は期間や開催数を決め、市内の分散した会場での開催から新規自主開催に向けて支援をし、新たに 5 グループが立ち上がった。

施策 2 - 3	放課後児童健全育成事業	8 小学校 12 箇所学童保育所を運営した。 年間利用者 延べ 74,196 人 7 年 3 月登録者 387 人 (5 年度 70,559 人 6 年 3 月登録者 376 人)
施策 2 - 3	放課後等デイサービス事業の安定運営	「はるかぜ」「みなみかぜ」の効率的な運営に努め、利用児の余暇活動の充実を図った。 「みなみかぜ」は保育所等訪問支援事業により、教育と福祉の連携を図った。 「はるかぜ」利用者 延べ 4,394 人 7 年 3 月登録者 47 人 (5 年度 4,685 人 6 年 3 月登録者 59 人) 「みなみかぜ」利用者 延べ 1,887 人 7 年 3 月登録者 21 人 (5 年度 1,767 人 6 年 3 月登録者 21 人)
施策 4 - 1	「ふくしあ」コミュニティソーシャルワーカー (CSW) 事業	住民等からの相談を受け、地域へ出向き、自治会や関係機関と協力して福祉課題を明らかにし、解決の方向に向けた支援を行った。 事業活動件数 東部ふくしあ 1,252 件 (5 年度 1,274 件) 中部ふくしあ 1,400 件 (5 年度 964 件) 西部ふくしあ 1,304 件 (5 年度 1,201 件) 南部大東ふくしあ 1,990 件 (5 年度 3,163 件) 南部大須賀ふくしあ 1,502 件 (5 年度 1,623 件) 合計 7,448 件 (5 年度 8,225 件)

5 詳細資料

第1 安心して暮らせるまちづくり

1 安心につながる相談支援事業

1) 相談支援事業の実施

①福祉総合相談事業の実施(月～金)

複雑化する住民の生活課題を解決するため、広く地域住民の相談に応じ、適切な助言を行うことを目的に総合的な相談事業を実施した。

開設日 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00

開設場所 社会福祉協議会本所 各ふくしあ 各出先機関

項目(件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
生計・年金	274	220	270	245	291	210	227	234	427	199	217	213	3,027
職業・生業	34	17	14	9	8	7	18	12	9	20	14	9	171
住宅	15	3	1	9	12	7	2	1	1	4	2	2	59
健康・衛生	4	2	4	19	13	3	11	3	4	8	2	2	75
教育・青少年	55	66	57	45	47	60	62	40	58	55	22	18	585
心身障害者福祉	99	92	105	103	91	98	93	122	111	114	102	97	1,227
高齢者(介護)	43	38	52	69	53	42	51	66	40	58	66	44	622
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひきこもり	28	46	52	53	40	42	42	32	37	42	32	27	473
その他	46	81	81	90	62	53	71	64	69	40	47	68	772
合 計	598	565	636	642	617	522	577	574	756	540	504	480	7,011

②心配ごと相談事業の実施

日常生活での悩みや心配ごとについて、相談員が助言・指導を行った。

掛川区域 第1、3、5金曜日 大東区域 第2金曜日 大須賀区域第4金曜日

③結婚相談事業の実施(第1、3日曜日)

出会いの場の提供や助言・指導を行った。(登録制)

④ボランティア相談事業の実施(月～金)

総合福祉センター内ボランティアセンター、東部ふくしあ、中部ふくしあ、西部ふくしあ、南部大東ふくしあ、南部大須賀ふくしあの6箇所にて、相談者に対するボランティアコーディネートを実施した。

相談事業(件数)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心配ごと相談	4	8	1	4	5	3	1	1	4	6	3	6	46
結婚相談	23	7	18	10	9	12	6	7	8	6	10	4	116
ボランティア相談	6	5	10	7	10	5	8	8	5	3	3	4	74
合 計	33	20	29	21	24	20	15	16	17	15	16	10	236

⑤福祉サービスにおける苦情の受付・対応

苦情受付件数 0件 (令和7年2月28日現在)

⑥福祉サービスに関する苦情解決第三者委員会の設置

設置なし (令和7年2月28日現在)

2) 自立支援施策の実施

①善意銀行貸付事業の実施

生活困窮世帯に対し、緊急かつ一時的に必要とする資金を無利息で貸し付け、適切な指導を行い自立更生を支援する。貸付申出者に安易に貸し付けをせず、必要最小限の貸し付けで分割交付を原則とし、生活困窮者自立支援事業担当者と連携を組むことで償還が確実に行われるよう努めた。貸付限度額 1世帯30,000円まで。

	償還件数	償還金(円)	貸出件数	貸付金(円)	通帳残高(円)
					3,342,325
4月	16	61,200	5	125,000	3,278,525
5月	13	81,000	0	0	3,359,525
6月	13	48,000	1	30,000	3,377,525
7月	12	63,000	1	13,000	3,427,525
8月	18	93,000	2	33,000	3,487,525
9月	6	19,000	1	30,000	3,476,525
10月	11	84,000	1	30,000	3,530,525
11月	10	49,000	1	30,000	3,549,525
12月	14	60,000	1	30,000	3,579,525
1月	4	10,000	1	30,000	3,559,525
2月	7	36,000	1	30,000	3,565,525
3月	3	9,000	3	80,000	3,494,525
合計	127	613,200	18	461,000	—

②生活福祉資金貸付事業の実施(受託)

他制度からの借入れが困難な低所得世帯や障がいのある方、65歳以上の高齢者のいる世帯に、民生委員の生活援助指導のもと低金利で資金を貸し付け、世帯の経済的自立を支援した。(実施主体 静岡県社会福祉協議会)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日本人数	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4
外国人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4

③生活困窮者自立相談支援事業の実施(受託)

生活困窮者の総合的問題(経済的困窮・社会的困窮など)に対して広く相談対応をし、家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行った。

④生活困窮者家計改善支援事業の実施(受託)

生活困窮者の家計問題に対して広く相談対応をし、家計の収支全体の改善を図り、個別的・包括的・継続的に支援を行った。

	生活困窮者自立相談支援事業						生活困窮者家計改善支援事業					
	新規相談件数	プラン作成数		支援実績			新規相談件数	プラン作成数		支援実績		
		世帯数	人数	回数	世帯数	人数		世帯数	人数	回数	世帯数	人数
4月	4	1	1	198	53	83	0	0	0	24	6	9
5月	4	1	1	175	47	71	0	0	0	28	6	9
6月	6	2	2	233	46	69	0	1	1	32	5	6
7月	2	1	1	214	43	58	0	0	0	22	4	4
8月	1	3	4	230	47	79	0	2	2	22	5	8
9月	2	3	3	209	46	60	1	1	1	20	5	6
10月	4	3	3	233	49	78	0	1	1	31	4	4
11月	5	2	2	228	50	85	1	1	1	28	6	8
12月	3	1	1	193	46	65	0	0	0	34	5	5
1月	3	4	7	192	47	73	2	2	5	40	9	12
2月	4	5	6	202	41	52	1	2	3	30	8	9
3月	0	8	8	124	46	61	4	4	4	30	11	14
合計	38	34	39	2431	561	834	9	14	18	341	74	94

2 人権を守る権利擁護事業

1) 権利擁護体制の充実

①日常生活自立支援事業の実施(受託)

認知症や障がい等のために、福祉サービスの利用や日常的金銭管理ができていない人を支援する事業として、県の事業である日常生活自立支援事業を受託して取り組んだ。

②成年後見制度の普及・推進

成年後見制度が必要とされる方の相談を受け、必要に応じて、申立て支援や専門機関へのつなぎを行った。

③法人後見業務の実施

成年後見制度による法定後見人を法人として受任し、身上保護、財産管理事務を行った。

	日常生活自立支援			法人後見		
	相談件数	支援回数	契約者数	受任件数	新規受任件数	活動件数
4月	235	52	32	6	1	32
5月	256	50	32	6	0	54
6月	304	50	34	6	0	29
7月	339	60	34	6	0	47
8月	332	55	34	6	0	19
9月	323	55	34	6	0	26
10月	332	52	31	6	0	23
11月	262	51	31	6	0	22
12月	265	55	32	6	0	60
1月	236	48	32	5	0	28
2月	220	4	32	5	0	33
3月	228	50	33	5	0	21
合計	3,332	582	—	—	1	394

④市民後見人の養成・支援

東遠3市社会福祉協議会にて実務経験を行った講座修了生は、推進委員会による市民後見人候補者名簿登録の選考を経て、市民後見人として活動を行うことができる。

掛川市名簿登録者2名。(1期生1名、3期生1名)



⑤中核機関への協力

東遠地区3市合同の中核機関事例検討会が毎月1回(原則第4水曜日)開催され、事例検討会に先立ち、必要に応じて行政担当者と関係機関による事前調整のための会議を実施した。

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
検討事例数	10	10	12	12	12	12	12	12	12	13	12	12	141

3 生活を守る在宅サービスの充実

1) 生活支援サービスの充実

① 障害(児)者福祉サービス事業の実施（居宅介護・重度訪問介護・同行援護）

障害者総合支援法に基づく自立支援事業所として、身体、知的、精神障がい者及び児童宅を訪問し、入浴、排せつ、食事等の介護を行った。同行援護については視覚障がい者に対し、外出支援を行った。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体	人	18	17	15	17	17	16	17	17	16	17	17	17	201
	回数	139	139	125	130	146	117	149	125	128	123	124	127	1572
知的	人	6	7	8	7	8	7	8	8	7	9	8	9	92
	回数	22	41	38	43	42	42	51	44	43	44	46	45	501
児童	人	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	回数	2	1	1	2	1	1	2	2	2	2	1	1	18
精神	人	7	7	7	6	6	5	7	6	6	7	7	6	77
	回数	41	27	28	26	24	21	38	37	36	34	38	38	388
同行援護	人	20	21	23	19	19	16	19	20	19	19	17	18	230
	回数	61	60	63	61	42	53	78	64	59	62	50	61	714



② 移動支援事業の実施(受託)

全身性障がい者、知的障がい者、障がい児及び精神障がい者に対して外出時の移動の支援を行い、自立した生活や社会・地域への参加を促進した。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
移動支援	人	6	4	5	5	4	8	6	6	7	5	5	5	66
	回数	12	10	7	12	5	11	12	9	14	10	9	11	122

③ 障害(児)者に対する相談支援事業所の整備検討

令和7年度開設に向けて行政との緒言う制を行った。

4 安心を支える災害時対応支援事業

1) 緊急時・災害時支援体制の確立

①災害ボランティアセンター設置運営の体制整備

◎令和 6年度 社協職員防災訓練:9月 5日(木)

電話連絡網を使った情報伝達訓練、サイボウズ「安否確認」訓練

社協災害対策本部立ち上げ訓練、サイボウズ業務復旧情報伝達訓練

衛星電話使用訓練、災害伝言ダイヤル再生訓練

◎令和 6年度 災害ボランティアセンター立上げ訓練:9月 8 日(日)

会場:掛川市生涯学習センター 第1~4会議室・催し物広場



②災害ボランティアグループとの連携

ボランティア団体「災害VC掛川」の定例会に出席し、情報交換に努めた。

③災害ボランティア講座の実施

◎災害ボランティア養成講座

開催日 2月9日(日) 会場 総合福祉センター あいり~な2階 教養会議室

講師 Office SONOZAKI 代表 園崎 秀治 氏

◎災害ボランティアコーディネーターフォローアップ研修

開催日 2月24日(月) 会場 総合福祉センター あいり~な2階 教養会議室

講話「被災地域から学ぶ連携の重要性」

④災害時協定に基づく被災地への職員派遣

石川県内災害ボランティアセンター等への職員派遣

・業務内容 能登町災害ボランティアセンターの運営全般

・派遣期間 第38クール 6月28日(金)~7月4日(木)

・派遣人数 1人

第2 とともに支えるまちづくり

1 居場所とつながりをつくる当事者や家族等への活動支援事業

1) 当事者や家族等への活動支援

①在宅介護者の会への支援(事務局)

②家族介護支援事業の実施(受託)

(認知症カフェ・リフレッシュ旅行・介護教室・笑顔のつどい)

認知症カフェ(茶のみやカフェ)

毎月1回南北3会場にて、認知症の方や介護されている家族、また関心のある方を対象に、認知症カフェを実施し、認知症になっても気軽に参加できる交流の場と機会を提供した。また、地域包括支援センターとの連携のもと、介護やサービス利用に役立つ情報提供を行った。



笑顔のつどい

毎月1回、物忘れが気になる家族を介護している方を対象に、お互いの悩みの相談、情報交換をする交流会を開催し、精神的負担の軽減を図る。また、地域包括支援センターや長寿推進課との連携のもと、介護やサービス利用に役立つ情報提供を行った。



	認知症カフェ(茶のみやカフェ)									笑顔のつどい	
	城下店		大東店		桜木店		出張café			あいり〜な	
	参加者	関係者	参加者	関係者	参加者	関係者	参加者	関係者	会場	参加者	関係者
4月	12	6	12	1	40	11	—	—	—	8	2
5月	10	3	18	2	47	14	8	1	どうもんの里	9	1
							42	0	けっトラ市		
6月	11	5	26	2	53	8	9	5	掛川東病院	13	1
7月	14	2	22	1	43	9	25	2	パロー大池店	13	1

8月	10	1	台風10号接近により中止		47	8	—	—	—	10	1
9月	11	5	21	3	46	6	7	1	とうもんの里	11	4
10月	9	4	6	1	47	13	11	11	掛川東病院	8	0
11月	15	5	24	4	46	8	12	0	パロー大池店	9	1
12月	14	2	12	2	46	9	—	—	—	11	1
1月	6	2	19	2	42	12	11	14	掛川東病院	12	1
2月	13	2	11	1	38	11	24	2	とうもんの里	10	5
3月	18	2	20	2	35	7	113	0	けっトラ市	13	1
合計	143	39	191	21	530	116	262	36	—	127	19

※関係者…参加者のうち講師、ボランティア、市職員、包括職員など、社協職員は除く

2) ひきこもり者支援事業

① ひきこもり者相談支援・家族支援

平成26年度より、ひきこもり当事者や家族の支援を目的としたひきこもり者支援事業を、スタートさせた。当事者や家族の声を聞き、その声に寄り添いながら支援を展開した。(学習会サロン・おしゃべり会・グループカウンセリング・個別相談)

◎常設型ひきこもり居場所「Myラボ」

義務教育後の学校や家庭以外の居場所として、月～金 午後1時30分～午後4時30分まで実施。生きづらさを感じている方や居場所がない方、話をしたい方などが自分の思う過ごし方ができる居場所となっている。

(1) 利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当事者	78	66	64	54	63	60	56	53	55	43	64	44	700
家族	5	1	3	3	4	5	6	2	3	2	2	1	37
合計	83	67	67	57	67	65	62	55	58	45	66	45	737

(2) 年代別当事者数

当事者年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
10代	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1.0
20代	2	2	3	3	3	4	4	3	3	3	3	4	3.1
30代	2	4	4	3	2	3	3	2	4	2	2	3	2.8
40代	6	6	6	5	5	5	6	5	4	4	5	4	5.1
50代	3	2	1	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0.8
60代	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	14	15	16	13	12	13	14	11	13	10	12	11	12.8

②ひきこもり対策協議会へ指定支援機関として参画

開催日:令和7年3月21日(金) 会場:掛川市役所4階 1-ABC

内容:掛川市ひきこもり対策協議会代表者・実務者会議 当年度取組報告

3)障害児(者)との交流活動

①知的障がい者交流事業(青年学級(この指とまれ・四つ葉の会))の実施(毎月)

心身に障がいを持つ青年層が、休日の余暇を充実させることを目的に、仲間との出会いの場を2会場で提供した。運営はボランティアスタッフの協力を得て行った。



②精神障がい者交流事業(ほっとほっとサロン)の実施(毎月)

仕事や作業所等が休日となる土曜日を利用して、精神障がい者の余暇活動支援事業を開催。社会参加と自立を促す活動として、仲間とのコミュニケーションを楽しみながら、ほっとした一時を過ごす余暇活動の居場所を南北2会場で提供した。

参加者:当事者・市民・ボランティア・民生委員など

協力:NPO法人ジョイントサークル「かたくり」

2 高齢者の社会参加を支援する事業

1)高齢者の社会参加促進

①高齢者サロンの推進・活動支援

令和6年度 サロン・居場所(通いの場)調査

	高齢者	子ども	複合	通いの場	合計
東部ふくしあ	25	6	0	29	60
中部ふくしあ	16	7	4	14	41
西部ふくしあ	11	5	0	31	47
大東ふくしあ	9	0	8	16	33
大須賀ふくしあ	4	0	3	23	30
合計	65	18	15	113	211

②高齢者サロンボランティア情報交換会の実施

- ・大東・大須賀合同情報交換会 令和6年7月19日(金)

サロンの状況把握を行い、相互の利点を共有、課題を抱え込むことの防止に努めた。

③高齢者生きがい活動拠点事業の実施(受託)

掛川市22世紀の丘公園コミュニティセンター「たまり～な」を活動拠点として、高齢者の生きがいづくり事業の推進を図った。

「たまり～な」利用件数

	老人クラブ		教室・自主クラブ(21クラブ)		合計	
	件数	利用者数	件数	利用者数	件数	利用者数
4月	11	171	48	515	59	686
5月	20	485	48	494	68	979
6月	22	672	50	514	72	1,186
7月	19	550	50	544	69	1,094
8月	13	172	42	452	55	624
9月	13	315	46	526	59	841
10月	19	432	50	522	69	954
11月	13	208	51	530	64	738
12月	27	834	49	505	76	1,339
1月	9	248	50	532	59	780
2月	12	291	47	513	59	804
3月	11	202	48	560	59	762
合計	189	4,580	579	6,207	768	10,787

④「たまり～な」を活用した世代間交流の展開

- ・たまり～な子どもの居場所開設に向けたワークショップの開催

令和6年8月18日(日) たまり～な 工作室 参加者:シニアクラブ女性部12人

◎eスポーツの取り組み

- ・掛川市高齢者eスポーツ体験会

令和6年8月9日(金) 掛川市総合福祉センター あいり～な 2階 教養会議室

- ・掛川市高齢者向けeスポーツ講座

令和7年1月23日(木) 掛川市総合福祉センター あいり～な 2階 教養会議室

⑤掛川市シニアクラブ連合会への支援(事務局)

シニアクラブの事務局として、掛川・大東・大須賀支部の連携を図り、各支部相互の調整・親睦に努めた。



2) 生きがい活動支援(笑顔と生きがいづくり支援事業)

① 生きがい活動支援通所事業の実施(受託)

介護保険の対象とならない家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、必要に応じて送迎を行い、健康体操、教養講座、レクリエーション、趣味活動、創作活動等の生きがいづくりや介護予防のためのサービスを提供した。

	西部生きデイ			東部生きデイ			大東区域生きデイ (11箇所)			大須賀区域生きデイ		
	利用者数	登録数	稼働日数	利用者数	登録数	稼働日数	利用者数	登録数	稼働日数	利用者数	登録数	稼働日数
4月	186	88	21	231	90	21	213	70	20	93	26	16
5月	174	89	21	225	88	21	206	71	19	95	30	15
6月	161	88	19	199	89	19	211	69	19	88	30	14
7月	163	88	21	196	89	21	204	69	19	93	31	15
8月	135	88	16	151	93	16	157	69	15	87	32	13
9月	164	88	19	197	89	19	197	70	19	104	32	15
10月	182	88	22	228	87	22	198	70	19	]	31	15
11月	163	87	20	192	87	20	201	66	19	94	31	14
12月	159	85	20	175	87	20	204	67	20	98	34	16
1月	151	85	19	170	83	19	154	65	17	87	30	15
2月	153	83	18	175	88	18	161	61	18	80	32	14
3月	147	81	19	204	85	19	178	61	19	88	29	14
合計	1,938	—	235	2,343	—	235	2,284	—	223	1,007	—	176

②一般介護予防事業(社協筋ちゃん体操)の実施(受託)

介護予防を推進するため、地域へ出向き、体験・出張講座を実施し、普及啓発に努めた。

	たまり～な		山王荘		大東北公民館	
	参加者	関係者	参加者	関係者	参加者	関係者
4月	57	0	49	0	22	0
5月	68	1	42	0	26	0
6月	60	0	52	0	25	0
7月	67	0	39	0	26	1
8月	67	1	34	7	13	4
9月	71	8	44	0	21	2
10月	65	0	38	0	20	0
11月	55	2	47	2	27	0
12月	56	0	35	0	23	2
1月	66	0	34	0	19	0
2月	58	0	26	0	21	0
3月	70	0	34	0	2	0
合計	760	12	474	9	245	9

	倉真		イオンタウン大須賀	
	参加者	関係者	参加者	関係者
4月	50	0	25	0
5月	44	0	33	0
6月	34	2	11	1
合計	128	2	69	1



	原谷		曾我	
	参加者	関係者	参加者	関係者
9月	68	0	24	0
10月	74	0	18	2
11月	83	1	20	0
12月	79	0		
1月	79	0		
2月	75	0		
3月	78	0		

社協筋ちゃん体操とは？

理学療法士監修の転ばない
からだづくりのための誰で
も簡単にできる運動

合計	536	1	62	2
----	-----	---	----	---

※関係者…参加者のうち講師、ボランティア、市職員、包括職員など、社協職員は除く

3 子どもの成長と子育てを支援する事業

1) 子ども支援活動

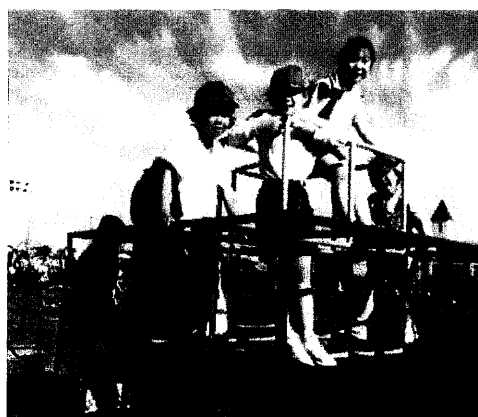
①放課後児童健全育成事業(学童保育所)の実施(受託)

中央小・西山口小・第二小・大坂小・土方小・千浜小・佐束小・中小(8小学校12箇所)

就労などの事情により、昼間保護者が家庭にいない児童に対して、放課後等に保育を行い、児童の健全育成及び保護者の就労と子育ての両立支援を図った。

②子どもの居場所づくり活動の支援

利用数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中央専用	963	908	746	747	595	685	754	690	669	587	641	671	8656
中央分室	738	733	614	572	419	556	614	548	508	466	456	431	6655
西山口専用	634	628	588	639	506	528	587	555	462	450	409	430	6416
西山口南館1	695	683	668	700	525	663	687	629	537	560	528	508	7383
西山口南館2	616	611	558	624	407	559	575	553	476	440	409	364	6192
掛二小	646	645	612	568	469	501	627	563	530	466	510	538	6675
掛二小つくし	832	821	804	840	625	740	838	746	738	583	657	723	8947
大坂	355	418	419	387	262	364	420	370	358	319	289	293	4254
大坂分室	279	289	304	265	181	202	240	183	173	161	150	145	2572
土方	512	501	491	534	418	485	542	524	472	407	440	480	5806
千浜	579	582	534	633	520	495	615	575	529	503	494	506	6565
佐束	273	328	334	348	274	314	376	312	297	301	286	277	3720
つくし土曜	34	21	36	27	31	31	24	34	25	22	28	25	338
土方土曜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土方祝日	0	1	0	1	1	4	0	2	0	2	4	2	17
合計	7156	7169	6708	6885	5233	6127	6899	6284	5774	5267	5301	5393	74196



登録数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中央専用	64	61	46	46	49	44	42	42	42	43	44	48	571
中央分室	45	44	35	36	38	35	35	34	34	33	33	33	435
西山口専用	41	41	40	43	45	37	38	35	34	33	30	33	450
西山口南館1	42	42	42	42	42	41	39	39	38	38	36	36	477
西山口南館2	41	41	39	38	40	38	37	36	34	29	27	27	427
掛二小	36	36	36	34	34	33	35	35	35	35	35	35	419
掛二小つくし	48	49	47	48	49	47	47	47	46	47	46	48	569
大坂	25	27	27	27	28	27	25	25	25	22	21	21	300
大坂分室	19	18	18	20	20	16	15	14	12	12	11	11	186
土方	28	29	28	29	30	31	31	31	30	30	30	31	358
千浜	35	35	35	35	36	35	35	34	34	33	33	33	413
佐束	17	20	20	20	22	20	20	19	19	19	19	18	233
つくし土曜	13	13	14	13	13	13	13	13	13	13	12	11	154
土方土曜	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
土方祝日	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	26
合計	459	458	429	433	448	419	414	406	398	389	379	387	5019

2) 子育て支援活動

① 子育て相談支援員派遣事業の実施(受託)

心身の発達の遅れが認められる児童の健全な育成支援を目的として、教室や居宅等において保護者からの相談に応じ、発達促進指導や必要な情報提供および助言等の活動を実施した。

② 子育て相談の実施

子どもの発達上の問題や関わり方などの相談に、子育て相談支援員が対応した。

③ 養育支援訪問事業の実施(受託)

市の健康医療課より訪問委託された家庭に訪問し、子育て相談にのり、育児力の向上と育児ストレスの軽減を図った。

④ 「おやこたけのこ教室」の実施

親子で小集団の経験を積むことで、よりよい親子関係を作り、保護者の不安や困り感を軽減し、子どもの発達と子育てを支援した。

	子育て相談支援員派遣事業			
	子育て相談 訪問回数	子育て 相談件数	養育支援 回数	おやこたけのこ 教室(含開放 日)人数
4月	3	0	7	44
5月	2	0	10	34
6月	2	2	6	74
7月	4	0	5	76
8月	6	7	3	10
9月	7	0	10	54
10月	6	2	7	81
11月	9	1	11	77
12月	8	1	9	111
1月	7	0	9	80
2月	7	2	9	85
3月	6	1	9	121
合計	67	16	95	847

⑤「おもちゃ図書館」の開館

障がいのある子もない子と共に、様々なおもちゃで楽しく遊ぶことを通し、心豊かに育ちあう場、また親同士の交流や子育て相談の場として開催した。

	おもちゃ図書館(第3日曜日)			
	大人利用	子ども利用	ボランティア数	おもちゃ 貸出し
4月	20	25	6	27
5月	25	24	5	22
6月	26	33	6	26
7月	30	31	7	20
8月	27	27	6	40
9月	24	25	6	24
10月	21	21	4	28
11月	20	23	8	25
12月	22	22	7	33
1月	34	30	5	26
2月	27	25	6	30
3月	26	25	6	24
合計	302	311	72	325



⑥子育てサロン・サークルの活動支援

子育てサロン・サークルの活動状況の把握に努め、電話による相談対応、希望するサロン・サークルへの訪問対応を行った。訪問時には子育てに関する情報提供をするとともに、活動の工夫や対策及び要望を聞く機会とすした。

⑦子育てサロン・サークル情報交換会の実施

サークル・サロン団体が互いの運営方法や活動内容等について情報交換をすることで交流を深め、より良い関係を構築できるよう実施した。

3) 障害児支援活動

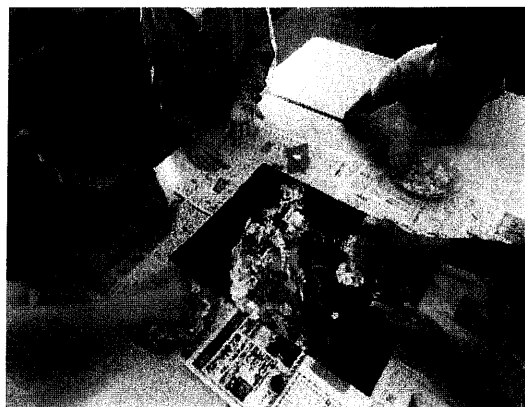
①放課後等デイサービスの運営(北部事業所はるかぜ)

②放課後等デイサービス・保育所等訪問多機能型の運営(南部事業所みなみかぜ)

心身に障がいを持つ児童が、可能な限りその地域で生活が継続できるように、利用児の成長につながる心豊かな放課後及び長期休暇活動を支援するとともに、保護者及び家族の養育負担を軽減することを目的として実施した。

	はるかぜ			みなみかぜ		
	利用数	登録数	稼働日	利用数	登録数	稼働日
4月	400	50	21	146	17	21
5月	405	50	21	163	19	21
6月	363	50	20	162	18	20
7月	397	51	22	194	19	22
8月	318	51	19	157	18	19
9月	375	51	19	142	18	19
10月	401	47	22	145	18	22
11月	300	47	20	140	19	20
12月	366	47	20	160	19	20
1月	368	47	19	169	19	19

2月	345	47	18	162	19	18
3月	356	47	20	147	21	20
合計	4,394	—	241	1,887	—	241



はるかぜ



みなみかぜ

第3 市民参加のまちづくり

1 市民を育てるボランティア活動推進事業

1) ボランティアの開拓・養成

① ボランティア養成講座の実施

ボランティア受け入れに関する基礎知識、受け入れへの心構えなどを理解できる講座を開催した。

② サマーショートボランティア講座への協力支援

サマーショートボランティアは、県ボランティア協会が中心となって、夏休みを利用して行うボランティア体験プログラム。学生から一般まで、幅広い年齢層が参加でき、活動者は、県内の福祉施設で4日以上ボランティア活動を体験した。当会は共催として、募集・PR等を実施した。

③ 小学生・中学生ふれあい交流の実施

障がいのある児童生徒との交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育むことを目的に開催した。

④ 高校生・青年ボランティアの育成

知的障がい者交流事業(青年学級(この指とまれ・四つ葉の会))等で、高校生ボランティアを受け入れた。また、大学生のボランティアに関する相談を受け付け、青年学級、ボランティア団体、福祉施設でのボランティアにつなげた。

社協事業協力ボランティア数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中学生男子	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
中学生女子	0	0	0	0	0	0	9	0	2	0	0	0	11

高校生男子	1	5	3	1	1	1	1	1	1	0	1	2	18
高校生女子	5	1	5	5	3	2	1	0	1	2	1	2	28
大学生等男子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大学生等女子	1	2	2	2	1	1	0	0	1	2	2	3	17
一般男子	16	16	21	15	14	16	26	15	12	13	14	16	194
一般女子	24	27	26	28	27	25	24	48	41	19	25	26	340
男子合計	17	21	24	16	15	17	30	16	13	13	15	18	215
女子合計	30	30	33	35	31	28	34	48	45	23	28	31	396
合計	47	51	57	51	46	45	64	64	58	36	43	49	611

2) ボランティア活動支援

① ボランティアセンターの運営

ボランティア情報を提供し、実践のい支援、調整を行うため、ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアセンターの運営を行った。

② ボランティア連絡協議会への支援(事務局)

ボランティア連絡協議会は、市内を中心に活躍しているボランティア団体や障がい者団体、障がい者支援団体、施設等で演芸等を披露されている団体等が加盟している。ボランティア相互の情報交換や福祉講座等を、事務局として実施した。

3) 多様な担い手との連携

① 市民交流センター等の活動団体との連携

② NPO団体との連携

ボランティアセンターに登録している、各種ボランティア・NPO団体・協力団体との連携を図った。

- ・聴覚障がい者支援 5団体
- ・障がい児支援 6団体
- ・視覚障がい者支援 4団体
- ・高齢者支援 3団体
- ・身体障がい者支援 1団体
- ・子育て支援 8団体
- ・精神障がい者支援 2団体
- ・障がい者団体 4団体
- ・芸能・音楽・福祉施設・図書館ボランティア 10団体
- ・その他(収集物整理・災害支援・観光ガイド・自然環境・市民活動) 16団体
- ・協力団体 10団体

③ 企業の社会貢献活動の啓発と連携

企業の社会貢献活動への呼びかけを行い、連携して支援事業を実施した。

・フードドライブボックスの設置

寄付された食品を、生活困窮者の食糧支援として活用した。



2 地域を育てる地域活動支援事業

1) 地区福祉協議会のネットワーク強化

① 掛川市地区福祉協議会連絡会の運営支援(事務局)

役員会、代表者・企画委員長合同会議の開催

2) 地区福祉協議会活動の充実

① 地区福祉協議会支援(活動支援・基盤強化支援・役員研修)

市内35地区で設置されている同組織の基盤強化、活動の充実のための支援を行った。

・令和6年度地域福祉活動実践報告会

令和6年12月6日(金) 参加者:62人 大須賀中央公民館 2階 研修室

各地域で取り組まれている、サロンや子ども食堂、多世代交流会、困窮者支援、見守り活動など、7つの事例を紹介、意見交換を行った。

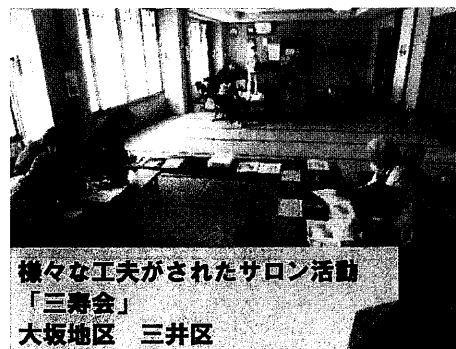
活動内容



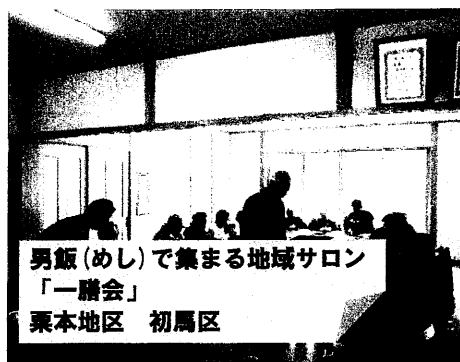
夏休みを利用した多世代交流活動
西郷地区



地域で取り組んでいるこども食堂
「南郷すくすくこども食堂」
南郷地区



様々な工夫がされたサロン活動
「三寿会」
大阪地区 三井区



②地区福祉協議会助成事業等の実施

地域の特性を生かした住民主体の地域福祉実践活動を行っている地区福祉協議会等へ、活動費助成を行った。

助成地区35地区:助成総額8,481,400円

また、地域で行う高齢者や子育てサロンなど、事業を実施する地域に対して助成し、地域の主体的な活動の育成・支援を実施した。

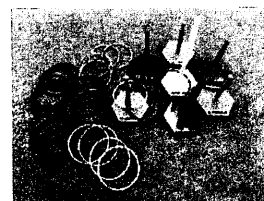
助成地区31地区90サロン:助成総額2,275,000円

③見守り・サロン(居場所)・家事支援活動の立ち上げ、活動支援、研修会の実施

サロン活動の普及推進を目的とした先進地研修や、エリア別小地域福祉ネットワーク活動研修会を実施した。

④認知症の人の見守り・支え合いネットワークの推進

「小地域福祉ネットワーク」を重点事業として、各地区での立ち上げと活動の支援を行い、普及推進に努めた。認知症の人の見守り・支え合いについても、小地域福祉ネットワーク活動の一環として取り組み、活動内容の充実を図った。



3) 地域福祉活動支援の充実

①お助け用品貸出事業の実施

サロン活動等の地域活動を支援するためにレクリエーション等の用品貸し出しを実施した。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本所	29	46	63	75	74	51	64	70	72	64	52	68	728

中部	0	1	1	4	1	3	1	4	0	0	1	0	16
西部	5	14	1	14	1	6	7	9	5	5	5	3	75
大東	6	2	3	7	7	3	5	3	7	22	13	4	82
大須賀	2	1	5	12	13	13	18	35	14	9	12	3	137
合計	42	64	73	112	96	76	95	121	98	100	83	78	1038

3 福祉を伝える啓発・情報提供活動

1) ふれあい交流活動

①ふれあい広場の開催

開催日 10月20日(日) 会場 生涯学習センター

テーマ 「はじめよう、小さな一歩は笑顔から」

出展団体 36団体 ステージ発表団体6団体

参加人数 約1,500人(参加団体・一般来場者含む)



2) 市民啓発活動

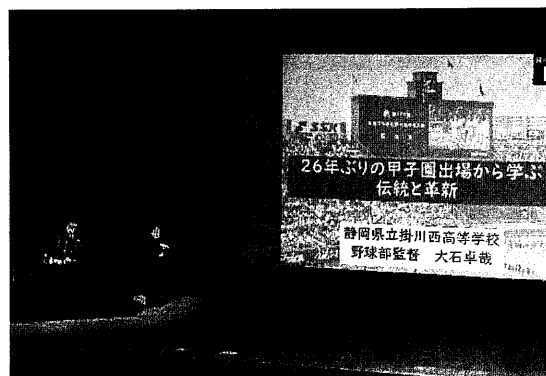
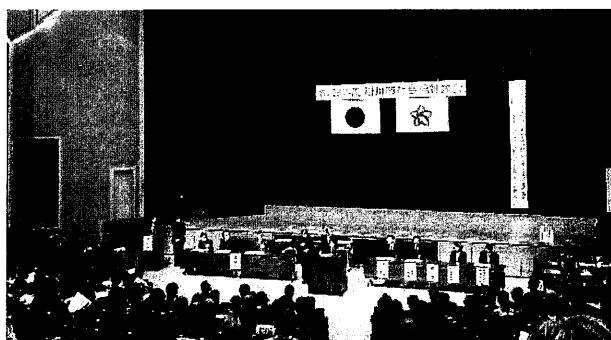
①社会福祉大会の開催

開催日 2月15日(土) 会場 掛川市生涯学習センター 来場者数 約600人

掛川市社会福祉協議会会長表彰・静岡県共同募金会会長感謝状伝達

記念講演 「26年ぶりの甲子園出場から学ぶ伝統と革新」

講師 静岡県立掛川西高等学校 野球部監督 大石 卓哉 氏



3) 情報提供活動

① 社協だよりの発行(毎月)

② ボランティア情報の提供

ボランティア受け入れ施設の情報提供

・高齢者施設 42施設 ・障がい児・者施設 21施設 ・児童関係施設 17施設

③ 介護者だよりの発行

介護者つうしん「ひといき」を発行する。在宅介護者、各ふくしあ、各種事業(リフレッシュ旅行、茶のみやカフェ、笑顔のつどい)参加者等に配布し、活動報告や家族介護支援事業等の情報の提供を行った。

④ 社協ホームページによる情報発信

⑤ 特技ボランティアリストの活用

掛川市内および近隣の福祉施設や地域サロン活動(子育てサロン・高齢者サロン)支援のために、自分の特技を生かしたボランティア活動をしていただける方(個人)を特技ボランティアとして登録する。登録者51人。

4 福祉の心を育てる福祉教育活動

1) 学校発の福祉教育の充実

① 福祉教育実践校事業の推進・活動支援(小・中・高35校)

西中学校



当事者の講話と誘導体験

大浜中学校



校内のユニバーサルデザイン
やバリアフリー探し

② 福祉教育実践校連絡会の実施

各学校の福祉教育の基本的な考え方を理解する場とし、ゲストや他校と情報交換を行い学校における福祉教育の推進を図った。

・第1回掛川市福祉教育実践校連絡会 令和6年5月10日(金)

掛川市徳育保健センター 徳育ホール(Zoom配信)

参加者:市内小中高福祉教育担当教諭34校、協力ゲスト9人、手話通訳2人

教育委員会1人、県社協1人、社協職員10人 合計57人

・第2回掛川市福祉教育実践校連絡会 令和7年1月17日(金)

掛川市徳育保健センター 徳育ホール

参加者:市内小中高福祉教育担当教諭32校、協力ゲスト7人、手話通訳2人

教育委員会1人、福祉課1人、社協職員10人 合計53人

2) 地域ぐるみの学びの場づくり

① 地域出前講座の実施

地域の方が参加しやすい会場に出向き、福祉について学ぶ場として、また豊かな地域生活を過ごすための知識、技術を習得することを目的に開催した。

② 市民地域福祉セミナーの実施

令和6年7月28日(日) 掛川市徳育保健センター 2階 徳育ホール

講師 裾野市東地区おやじの会「何にもしない合宿」実行委員長 小田 圭介 氏

内容 1部 講演「地域の土台づくりという視点」 2部 パネルディスカッション

一般参加者92人



第4 福祉基盤を強化する体制・組織づくり

1 福祉を進める体制を強化する事業

1) 地域包括ケアシステムの充実

①コミュニティソーシャルワーカー(CSW)事業の推進(受託)

②生活支援体制整備事業・生活支援コーディネーター(SC)業務の実施(受託)

※CSWとは・・・住民等からの相談を受け、地域へ入り、地域住民や関係機関と協力して福祉課題を明らかにし、解決の方向に向けた支援をする専門職。

	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東部	来所による相談	7	8	7	11	8	14	8	20	16	13	9	11	132
	電話相談	28	46	46	63	39	45	51	45	34	33	28	40	498
	地区福祉協支援	35	37	23	20	34	30	30	32	26	41	31	38	377
	小地域ネット支援	0	8	3	3	1	0	0	0	0	1	2	0	18
	小地域ネット啓発	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1

	各種申請受付	6	11	24	5	2	10	17	12	18	5	6	9	125
	訪問	3	5	8	16	12	8	6	6	7	3	6	15	95
	ケース会議・ケア会議	2	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	6
	合計	81	115	111	118	96	108	113	116	102	96	83	113	1,252
中部	来所による相談	4	8	6	3	6	6	6	5	7	4	4	4	63
	電話相談	80	49	83	48	58	30	45	31	66	56	48	32	626
	地区福祉協支援	48	29	14	33	53	28	34	30	11	30	22	38	370
	小地域ネット支援	0	2	3	2	0	0	0	0	2	1	1	0	11
	小地域ネット啓発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	各種申請受付	20	17	19	13	10	7	29	17	7	8	14	5	166
	訪問	11	11	19	10	10	12	16	18	16	10	11	12	156
	ケース会議・ケア会議	0	1	0	0	2	0	0	4	0	0	0	1	8
	合計	163	117	144	109	139	83	130	105	109	109	100	92	1,400
西部	来所による相談	12	6	10	7	13	15	11	17	9	6	14	12	132
	電話相談	23	50	42	51	49	71	63	44	32	30	32	35	522
	地区福祉協支援	32	34	24	8	20	31	23	20	9	26	32	14	273
	小地域ネット支援	2	3	2	1	1	0	1	4	2	6	2	1	25
	小地域ネット啓発	1	6	0	0	0	0	0	0	0	5	1	0	13
	各種申請受付	21	24	14	24	16	25	33	26	19	19	19	22	262
	訪問	4	2	4	10	4	12	5	8	3	4	7	6	69
	ケース会議・ケア会議	0	0	1	3	0	0	2	1	0	0	0	1	8
	合計	95	125	97	104	103	154	138	120	74	96	107	91	1,304
大東	来所による相談	44	54	48	63	55	57	46	37	47	41	26	27	545
	電話相談	43	56	58	76	52	59	47	52	63	63	52	44	665
	地区福祉協支援	23	23	23	14	22	18	27	22	11	13	20	19	235
	小地域ネット支援	0	0	3	0	0	0	1	2	1	1	0	2	10
	小地域ネット啓発	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	各種申請受付	27	29	33	29	25	34	68	42	59	26	31	34	437
	訪問	6	4	18	14	7	8	2	1	5	4	7	6	82
	ケース会議・ケア会議	0	3	0	1	1	5	0	0	1	0	2	2	15
	合計	143	169	184	197	162	181	191	156	187	148	138	134	1,990
	来所による相談	40	30	29	26	34	21	31	31	20	17	18	18	315
	電話相談	48	28	23	21	30	10	28	37	33	40	28	31	357
	地区福祉協支援	11	17	24	20	14	17	38	45	35	22	18	30	291
	小地域ネット支援	0	4	0	0	4	0	0	2	0	0	4	0	14

大須賀	小地域ネット啓発	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	各種申請受付	36	24	21	32	16	34	52	59	33	29	30	25	391
	訪問	16	9	11	10	17	7	14	4	7	12	8	6	121
	ケース会議・ケア会議	2	2	0	3	0	1	1	1	0	0	2	0	12
	合計	153	114	109	112	115	90	164	179	128	120	108	110	1,502
	総計	635	640	645	640	615	616	736	676	600	569	536	540	7,448

2) 福祉関係機関との連携強化

① 地域健康医療支援センター「ふくしあ」への参画(5箇所)

地域健康医療支援センター「ふくしあ」へ、コミュニティソーシャルワーカーと生活支援コーディネーター(SC)を配置。保健、福祉、医療、介護等の相談にワンストップで対応する体制を構築し、地域福祉の推進を図った。

東部・中部・西部・南部大東・南部大須賀の各ふくしあへCSW・SCを10人配置

② 重層的な支援体制のあり方検討

・重層的な支援体制の整備に向けた研修会の開催

令和7年2月6日(木) 参加:行政14人 社協13人他

③ 福祉関係機関・専門機関との連携

地域包括ケア体制の構築を図るため、生活圏域ごとに地域の高齢者の福祉ニーズを検討し、サービスの充足状況を把握する。地域包括支援センター等の主催する地域ケア会議・包括相談協力員懇話会・社会福祉士専門職会議に参画した。

④ 社会福祉法人等社会貢献研究会の開催

・第1回研究会 令和6年6月25日(火) 参加7施設(7人)社協10人／合計17人

協議内容 社会貢献資源調べの活用について

本研究会があったことでつながった事例紹介

ケース状況報告



⑤ 福祉なんでも相談の実施(施設連携)

福祉なんでも相談会 フードパントリー事業

・第1回 令和6年8月3日(土) 総合福祉センター

配布世帯数41世帯 世帯人数計71名 相談希望者2世帯

・第2回 令和6年11月23日(土) 大東市民交流センター

配布世帯数38世帯 世帯人数計90名 相談希望者2世帯

・第3回 令和7年1月25日(土) 大須賀市民交流センター

配布世帯数43世帯 世帯人数計88名 相談希望者0世帯



3) 地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進

①地域福祉計画・地域福祉活動計画のPDCAサイクルによる推進

令和3年度から令和7年度までの第四次計画の期間中、地区福祉協議会や地域包括支援センターなど地域や関係機関にアンケートを行い、地域の活動への支援についてさらに充実を図る。

②第五次(R8～R12)地域福祉計画・地域福祉活動計画の検討

・第四次掛川市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進等委員会

令和7年2月17日(月) 掛川市役所全員協議会室

第五次地域福祉計画・地域福祉活動計画策定に向けた取り組みについて(報告)

第四次地域福祉計画・地域福祉活動計画推進の取組状況の検証について

2 社会福祉協議会の運営と組織強化

1) 社会福祉協議会の運営

①四役会・理事会・評議員会の開催

◎四役会

5月、7月、9月、11月、1月、2月に正副会長、専務理事、常務理事が参集。

事業報告及び予定の確認等を行い、充実した活動につなげるため課題等を協議した。

◎理事会

第1回理事会 令和6年6月4日(火) 出席者:理事13人、監事2人

書面決議 令和6年6月19日(水) 理事13人全員同意、監事2人全員確認

第2回理事会 令和6年12月6日(金) 出席者:理事12人、監事2人

第3回理事会 令和7年3月7日(金) 出席者:理事13人、監事2人

◎評議員会

第1回評議員会 令和6年6月19日(水) 出席者:評議員30人、理事4人、監事2人

第2回評議員会 令和6年12月23日(月) 出席者:評議員31人、理事4人、監事2人

第3回評議員会 令和7年3月17日(月) 出席者:評議員27人、理事3人、監事2人

②研修会の実施(役員・職員)

役員等研修会 令和6年12月23日(月) 講師:石川紀子氏(掛川市副市長)

講話「誰もがWell-being(幸福で心身や社会的にも満たされた状態)に暮らせるまちを目指して」

出席者:評議員27人、理事9人、監事1人、職員11人

③グループウェアの活用

④会費の充実(一般会費・賛助会費・施設会費)

一般会費:市内の全世帯に自治会等を通して協力をお願いした。

賛助会費:当会の趣旨に賛同いただいた方に賛助会員として加入をお願いした。

施設会費:社会福祉法第109条を基に、福祉施設・団体等に会員登録をお願いした。

(令和7年3月31日現在)

	6年度 件数(件)	6年度 金額(円)	5年度 件数(件)	5年度 金額(円)
一般会費	209	15,645,200	208	15,950,150
賛助会費	691	1,912,500	752	2,025,500
施設会費	23	117,000	22	106,000
合計	923	17,674,700	982	18,081,650

⑤寄付金及び寄付物品

	寄付金		寄付物品		
	寄付件数	寄付金額 (円)	食品	その他 (衛生用品他)	計
4月	3	27,345	18	10	28
5月	4	25,027	13	9	22
6月	3	1,005,340	5	12	17
7月	3	124,987	30	8	38
8月	3	60,533	18	8	26
9月	0	0	19	6	25
10月	5	14,882	18	14	32
11月	4	300,000	19	14	33
12月	9	166,218	37	17	54
1月	7	243,881	23	16	39
2月	1	6,282	17	7	24
3月	6	42,228	26	12	38
合計	48	2,016,723	243	133	376
5年度	58	2,673,637	252	152	404

2) 社会福祉協議会の組織強化

①法人機関体制の見直し

理事、監事及び評議員の構成及び人員を再構築し、定款及び理事・監事選任規程並びに評議員選任規程を変更した。所轄庁より定款変更の許可を受けることができた。

②事務事業のPDCAサイクル導入

年度当初に各課・係における重点取組事項を作成し、年3回進捗状況を確認した。業務の「見える化」「見直し」「簡素化」を図るため、各事業の効果検証をPDCAサイクルを活用した事業評価を年に2回(R6年8月およびR7年3月)実施し、事業評価を行った。

③職員研修体制の確立

「人材育成に関する基本方針」に基づき、本年度より自己申告制度を導入。年度当初に職務目標を設定、管理職による面接指導を年3回実施し、職員の教育および適性評価を図った。

④勤怠管理システムの導入

本年度より勤怠管理システムを導入し、正規職員および嘱託職員を対象に試験期間を経て、令和6年11月より運用を開始することができた。

3 共同募金運動の推進

1) 共同募金活動への協力

①静岡県共同募金会掛川市共同募金委員会運営委員会の開催

第1回委員会 令和6年6月4日(火) 出席者:委員13人、監事2人

第2回委員会 令和7年3月7日(金) 出席者:委員13人、監事2人

②共同募金(一般募金)への協力

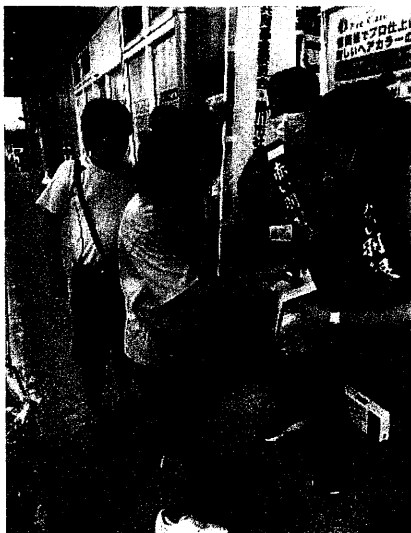
令和7年3月31日現在 募金額 10,560,963円(達成率 96.0%)

③歳末たすけあい募金への協力

令和7年3月31日現在 募金額 8,023,650円(達成率 101%)

④災害義援金への協力

令和7年2月13日現在 5件 76,312円



2) 共同募金助成事業の実施

① 助成金による地域福祉事業の充実

共同募金(一般募金)・地域歳末たすけあい募金による共同募金助成事業により、下記の13事業8,528,235円を活用した。

事業名	助成金額(円)
”赤い羽根”青年学級	158,000
”赤い羽根”精神障がい者サロン事業	245,000
”赤い羽根”おもちゃ図書館	50,000
”赤い羽根”小中学生福祉ふれあい交流	71,000
”赤い羽根”福祉教育実践校事業	1,884,000
”赤い羽根”福祉お助け用品貸出事業	350,000
”赤い羽根”地域福祉促進助成事業	539,000
”赤い羽根”地区福祉協議会活動助成金交付事業	3,304,235
”赤い羽根”生活困窮者フードパントリー事業	500,000
”赤い羽根”ボランティア養成講座	150,000
”赤い羽根”ボランティア連絡協議会活動助成金事業	300,000
”赤い羽根”災害ボランティア事業	500,000
”赤い羽根”ひきこもり支援事業	477,000
13 事業	8,528,235

3) 歳末たすけあい助成事業の実施

① 歳末たすけあい見舞金助成事業の実施

経済的理由で生活支援を必要とする子育て、高齢者、障がい者世帯(住民税非課税世帯)などで、生活困窮と認められる世帯に見舞金を助成した。

令和6年度 助成件数:140件 助成金額:3,367,000円

(令和5年度 助成件数:145件 助成金額:3,405,000円)

② 歳末たすけあい福祉事業助成事業の実施

地区福祉協議会、福祉団体、ボランティア団体等が年末年始(12月から1月まで)に行う、住民参加による福祉事業に対して助成した。

令和6年度 助成件数:90件 申請金額:1,856,000円

(令和5年度 助成件数:85件 助成金額:1,816,500円)

令和 6 年度

事業報告の附属明細書

令和 6 年度の事業報告に関して、定款第 38 条第 1 項第 2 号に規定する事業報告の附属明細書について、(※) 記載する事項はありません。

(※) 記載する事項・・・社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」

